

障がいの重い人の地域の暮らしを考える学習会「藤環すまいるホーム管理者をお迎えして」2017/11/6 アンケート結果

記入者ご所属	藤管理者のお話を聞いて	全体的な感想	その他
障がい者団体事務局	障がい者についてとても温かい眼をもっていらして、お話をお聞きして温かい気持ちになりました		もっと国や行政の障がい者の生活の実態に応じた支援が必要と思います。法律を考える方々はグループホームの夜勤等を体験していただきたい。
日中支援事業所関係	人材確保、育成が課題である中、利用者の豊かな暮らしを追求していく姿勢がとても勇気づけられました。	皆で語り合う場があれば良い	親亡き後のグループホームではなく、親が若く元気なうちから親元を離れる「親元からの自立」が大事だと思います。親元から離れた後、親はわが子だけでなく、社会的な視点で活動していくことで福岡市の生活の場が広がっていくのではないのでしょうか。
相談支援関係	課題や不安はたくさんあるものの、現実問題（親の高齢）が目の前に迫っていて、急いで整備しないといけないと思わされた	スタッフが足りない、お金（資金）が足りないことを痛感しました	障がい者の暮らし、日常に興味を持ってくれる人（理解者）を増やし、そこから支援者を増やしていかなければならないと思う。障害者と今は無縁の方々を巻き込んで、社会全体に広がっていかないと関係者だけの世界では限界があると思います
母親 40代	長い年月をかけて難しい課題を常にかかえながら一つ一つ新しいことを切り開いてくださって、本当に頭が下がる思いです。これからもよろしくお願いします	障がいの重い子どもが住めるケアホームをこれから新たに運営していくことがいかに難しいかを痛感しました	新たに入所施設は作る方向にない、でもグループホーム（ケアホーム）を作ることも難しい、では、いったい、どこで障害の重い方たちは暮らせばよいのでしょうか？
母親 70代		50年近く親の元で過ごしてきましたので、共同生活ができるのか心配しています。今は通所で喜んで通っていて、作業もちゃんとやっているのですが・・・ ガイドヘルプを週3回使って本人も楽しんでます	
父親 30代	初めて今回のような学習会を拝聴しました。障がいの重い方々のことをこれほど考えている人がいるということに安心しました。一方で現状の難しさも感じ取れました	今まで考えたことのないような、親がいなくなった時や娘の自立を考え、地域生活が継続できるような仕組みづくりについて想像する機会を得られてとても有意義でした 本当に必要性の高い施設だと思います、今後の取り組みにも期待しています	
ご本人	私が考えていたことが講師の話聞いて参考になりました。		自分も障がい（身体）をもっていて、グループホームなどがたくさんできればいいと思います。又参加したいと思います

母親 60代	スタッフの確保の大変さ（夜間は特に）	初めてだったので全体的に意見は出なかったけど次回より活発な意見があれば嬉しいです	現在医療行為を伴う 26 歳の子供がいます。友人（学校時代）とグループホームの立ち上げを考え見学をしながら現実となるよう努力しているところです。今後も 12/4 の勉強会を楽しみにしています
その他親族 50代	管理者としての苦悩を実感しました。でも仲間にとってよりよい生活ができるようにしてほしいです。	「終の棲家」としてグループホームを探しています」という方が多いと思われまますのでスタッフ確保、知的障害の方は見かけは普通と変わらないのでわかりづらいという面もあるので、もう少し補助での支援の幅を広げてほしいものです。	スタッフの確保として市から県からも派遣して実態を見ていただきたい。障がいの重い人は 1 人に 1 人（1 対 1）での見守りが 24 時間絶対必要です。そういう面でもまだまだ知らない方が多い、親亡き後、障害年金のみの収入になる為、家賃補助 1 万円じゃ不足してしまいます。補助金を増やしてほしいです
市会議員			市政における（対する）勉強会等を開催されてはいかがでしょう？
母親 60代	これまで多くの体験を通し色々なことを学んで来ておられるので重度の人のことが良く分かっておられると思いました。藤さんのような熟知された方が多く出てくることを望みます	環境が整えば重度の人でもグループホームができることがわかって良かったし嬉しかったです。いろいろと大変でしょうがこのような施設が多くできてくれると有難いです。	とにかくサービスが充実していないと不安です。できれば利用料は年金で足りるようにしてほしいです。亡くなるまで居られる施設が欲しいです。
母親 60代	障がい者の入居者にすぐ寄り添っているんなことを考えてあって親としてとても安心できると感じた	重度の子どもの親亡き後はいろんな面で不安を感じている。季節ごとの衣類をどうするなかと。	親も年々歳をとってくるので安心して利用できるホームに入居できることを考えている。今、自宅ですべてのサービスを利用できればいいなと思っている
母親 75歳	ご苦労もありがとうございました、生き生きとされていて救われました	とても深い学習会でした。参考にいたします。お誘いありがとうございました。大変有意義でした	私たちが医療ケア付きグループホームを模索しています。国の施策の改正、地域の絆の重要性を実感しました、今できることを積み重ね、実現させなければいけません。
母親 60代	グループホームを作ることの大変さ	自分自身の勉強が足りない 親が少しでも若いときに動かないといけない	分かっていたことですが障がいの重い人はお金から作ることの大変さを感じました
その他親族 75歳		色々大変だけれど本当にまだまだ不安があるけれど、考えていかなばいろいろな人が考えてくださることを知る	知的障害が重い人は理解力が少ない分、変化に弱い。親亡き後医療が必要になった時のことも安心できるようになればと思います。

		ことができている良かったと思います	
母親 特別支援学校 保護者	立ちは大抵壁の厚さを感じました。このような学習会はとても勉強になります。私たちがもっと声を上げなければいけないと痛感しました。	グループホーム、施設方の経営の大変さをとても感じました。人材の育成、私たちの意識改革が必要ですね	これからの日本に必要な場です。私は実家が名古屋で福岡は転勤で13年前に来たため、親族はいません。家庭内においてもいろいろ諸問題を抱えています。とても切実に感じます。
母親	「在宅にしない」「その人らしさを大切に」「自己決定・自己選択」などの大切にされている事（言葉）の中に、藤さんの責任感ややさしさを感じました。有難うございました。	こういう学習会に初めて参加しましたが、学びになる事や新しく知った事（情報）がたくさんありました。ありがとうございました	運営していくことの難しさを感じました。我が子の将来のことを考えると、親として自分のできることを自分の歩幅で考えていきたいと思っています。
母親 60代	分かりやすいお話でした。長い期間をかけて着々と仲間（家族）のために実現してくださっていることが感謝な気持ちになりました	全体的に良い学習会だったと思います。まとめはすぐわかりやすかったです。エスタスカーサの方の資料が小さくてよくわかりませんでした。もう少し厳しい現状にあるということを実感したかったです	具体的に一步踏み出すにはどうしたらいいのだろうかと改めて感じました
母親	利用者1人1人のことをよく考えていただいて有難いとおもいました	将来的には大変なことが山積みだとつくづく思いました	職員の方の報酬等、利用できるサービス等、行政の協力がもっとほしいと思いました
母親 50代		親子が別々に暮らすグループホームは淋しい気がします。家族として一緒に暮らしながら安心できる生活をするのが出来たらいいな。シェアハウスで複数の家族と一緒に暮らすタイプがあったらいいのと思います	
母親 50代	貴重なお話有難うございました。一人ひとりの暮らし方を良く考えられているなと思いました	国からの補助金が少ないと感じる。事業者の方の現状も良くわかりました	子どもが肢体不自由で、知的（軽度）ですがあります。高等部を卒業してやっと通所の事業所になれたところです。先を考えるとどんな暮らし方をするのか分からない所です。学校にいと情報が入りますが、全く入っていないので不安に感じています。事業所作業所も小さいところなのでグループホームとか持っているところを探したほうが良いのかと考えていたところでした。有難うございました
母親 40代	障害があっても地域の中で安全安心に普通に暮らしていける環境づくりの大切さを	今回初めて参加させていただきました。障害を持つ我が子の未来の為	職員、スタッフ育成のためにも若い世代（こどもたち）にグループホーム等のことを知ってほしいです。そのために、日常から地域との交流をより多く計る必

	改めて感じました	に、しっかりと取り組み声を上げていこうと思います	要があると思います
父親 74 歳	グループホームの運営について職員不足、確保の難しさや雲煙費の不足等の難しい問題があり、大変であることがわかりました		重い人のグループホームの運営費や職員の確保の難しさ等、難しい問題が多くあることがわかりました。国、市等の補助金の増額（大幅高な）がなければ運営が難しく、重い人のグループホームの設立は難しいと思われる
相談支援関係	「支援の幅が広い」というお話を聞いて本当にその通りだと思いました。障がい重度の方の意思を尊重したその人に合った暮らしをサポートされていることがわかりました		障害の重い人のグループの必要性をもっと発信していくことの大切さを感じました！！いつもありがとうございます。
相談支援関係	障がいがあっても地域の中で当たり前のように生活していくために、法人として中期計画をしっかりと立てられている・・・このことがとても大事だと思いました。またその課題、やはり支援者不足はどの事業所にも言えます。どうやったら人が増えるのか、どうやって支援者として育てていくのか、しっかりと考えていかなければならないと思います		分かりやすい収支の説明を聞いて、改めて重度の方のGH運営は厳しいものがあると知りました。でも本当に必要です。重度の方にも地域生活の実現を目指すべきだと思います。もっと誰もが住みやすい福岡市になるように願いたいです
GH世話人	とてもあつい思い等感じ改めてがんばろうという思いをもちました。有難うございました	皆さんの一生懸命な思いを感じました。いろいろな立場の方のご意見にふれてとても元凶になりました	
日中支援事業所	新規でGHを立ち上げるという課題に対して、5年計画を立てられ、明確なビジョンを共有して解決していかれた点は、施設職員として他職員にもしっかりと伝え、日々の業務にも活かせると考えました。GHを立ち上げる計画が当方にも将来的にあるのですが、管理職まかせではなく、多くの支援員が関わっていくことが大切だと感じました。今までのやり方、考え方では柔軟な発想が生まれにくいのではないかと。葦の家の皆さんの取り組みはとても参考になり、これからのビジョンを少しながらも持つことが出来たと思います。		
相談支援関係	葦の家福祉会のこれまでの歩みや現在のGHの状況など詳しく聞くことが出来、非常に参考になった。いただいた資料の内容もそうだが、これまでの経験を踏まえたとえでの考察も述べられていて、根拠もわかりやすく話し方もとても聞きやすいものとなっていた。今後も連携をとらせていただく中	GHを利用するにあたっては収支の部分が非常に気にな部分であるためそこが内容に盛り込まれており、非常に良かった、ただ、資料が映像のみで見づらい部分が多かったため、全体が見やすい形で発表していただければより良いものになっていたように感じま	昨年より福岡市の事業で「かーむ」が出来ているが、全体的にうまく利用することが出来ていないように感じられている。障がいの重い方は特に自分の意志の発信に偏りがあり、一人一人の分析に時間や質の高い支援が必要だと思われる。ハード面での整理や充実も必要だと思われるが、ソフト面での充実も同時に図って行かなければならないと思う。また最近では地域からの理解も少しずつではあるが深まっているように思われる。専門職の立場からの発言も大切であるが、当事者の方からの発信も今回の研修のように積極的に

	で、実際の状況を継続的に伺っていくことが出来ればいいと思います。	す。これだけの規模の研修会をするにあたり、準備に大変な時間がかかったと思います。運営に携わった方、本当にお疲れさまでした	行っていくべきであると考えます。ぜひ今後も「当事者」「専門職」とが密に関わりながら地域に発信することができればと思います
母親	以前お世話になっていました。親も頑張らねば・・・	今後成り立ちや現状を知って、そのうえで親がどう動けば良いのか勉強していきたい	短期入所をいくつか利用したことがある。ケアホーム、NPO・・・現在事業団（ももち）さん以外受け入れてもらえない。他はすべて断られました。断られるたびに行ける場所はないのだと思いました。スタッフの育成、親の役割、今後も考えていきたいです
母親	管理者の思いが伝わりました		障がいの重い人のグループホームを作ることが本当に大変なことと思った。国や市の補助が少しでも多くなることを願っている。例えば家賃の補助額をもっと多くとか
日中支援事業所	<ul style="list-style-type: none"> ● 思いを強く持って支援に努めてあることが伝わった。 ● 課題や、実施するにあたっての思い（大変なこと）が、まだまだたくさんあり、伝えたい（知ってもらいたい）という気持ちを感じた 	ニーズは大きくあるが、課題も大きくあることを改めて感じた。スタッフの充実と思い（方針）の共有が、やはり重要であると思う。地域の方の理解、そして長い期間かけて計画してこられたことが学びとなった	現在関わっている方々に今後必要な「この先」を考えると避けることのできないものと思っています。一人お一人（当事者も家族も）を助けていきたいという思いはありますが、そこに関わる「人」達が思うだけでなく、どのように行動し共有していくべきか、いつもモヤモヤとしています。一人ひとりができることをやっていけば、「地域で暮らせる仕組み」は出来ていくと信じています
母親 40代	様々な苦勞をされて今も迷いの中で、利用者に寄り添おうとくださるお姿に敬服いたします。当事者（保護者）として何が必要なのか、このままではダメなことなど、もっと強く言ってもらいたいと思いました。在校生の母は正直危機感が足りないのです。		こどもは重度で医ケアもあり、学校を休むこともたびたびです。母は就労の機会が大変限られていて家計はとても厳しいです。人手が足りないのであれば母が働けるような場になるといいなと思いました。その際に、こんな資格があればとかあるなら早いうちから勉強したいと思っています。（夜間、早朝などもっと細かく時間を分けて働ければ可能かと思うので）
母親 40代	人材確保がどうにかならないか？若い親たちの力を借りられないものか？と思います。	何をすることも時間がかかるのだろうかあと痛感しました	医療機関とタイアップしていくことは難しいでしょうか？
日中支援事業所	利用者のニーズに向かって進んである。ただ自分にどこまでできるのか（私自身の時	ひと口にグループホームといってもさまざまな問題があり、むずかしい。難し	私は生活介護支援員として日々働いていますが、最近親の高齢の為にうちを離れるという場面に初めて会い「親亡き後」という現実を感じました・まだまだ

	間のなさ)と感じた	いが必要としている人がいる。自分も子育て中で夜間の支援に入れません。そこが一番つらく思うところです。	だ勉強不足でグループホームのこと以外でもたくさんのことを学ばないといけません。これからもこういった学習会をひらいていただき、学びたいと思います。
父親	長く継続されて、管理者をされている人の話はいろいろと示唆に富む事が多いです	無知識から少しずつ知識を得てくと難しさを痛感してきます	長い道のりですが管理者の人たちは日々努力されていることに感じるものがあります
母親 50代		資料等もう少し詳細な部分が欲しかったです。エスタスカーさんの説明部分が全く見えませんでした。せっかくの説明だったのに残念でした	みんなの願い、一日も早い実現を！ 子どもたちの生まれてから亡くなるまで、一生を通しての支援の仕組みができることを望んでいます。途切れることのない支援体制が実現しますように
障がい者GH(社福)	ご苦労している事は解りましたがもっと突き詰めた内容あってほしかった！	概略としては納得のいくものであったが何となく得るものがない気がした	社会参加をもっともっと増やす、活動の場を開拓してもらいたいです
障がい者施設入所職員	入所から地域へと移行を支援している身として、在宅から地域の方と比べると、準備段階には提供できる場があると考えた。しかし裏を返せば、年がたつにつれて、生活リズムと定着等から少しずつ難しくなっていくと感じた	「親亡き後」の支援については、GHだけでなく全ての障がい者支援のテーマであると考え	課題は多いが、様々なニーズに対応するには必要なサービスだと考える
障害を持つ子どもさんの「親の会」に参加している者 60代	皆さんの善意の中で開設の動きでも限りがあること、課題が多いことがわかりました	まずは費用の援助があればクリアできることは多いと思われる。行政を動かすためにどうすればいいか	人格障害の息子さんがおられる友人がいて、今、大変困っておられます。この親子に道が開かれるのか心配です
相談支援関係			GH設立を考えている法人は多数ありますので集まったの勉強会、情報交換会が必要なのではないでしょうか。一法人単位では情報が少なく、非効率であると思います。福岡市担当者参加の勉強会等が必要なのは・・・
日中支援事業所(父親) 60代	大きな課題を示してくださいました	熱気を感じる研修会でした	
母親 50代		グループホームを作りたいといろいろ走り回っていますが、やはりそう簡単には出来ない。でもあきらめたくない！！	

母親	一つのグループホームをつくるのに5～8年と長い期間がかかる事に驚きました。そして、それでも定員は10名という現実。開設後も多くの支援者が必要である事、運営が厳しい事、私たち親も支援者たちと子どもが幸せな人生を送れるよう考えていかなければいけないんだと改めて考えさせられました	このような学習会をたくさんしてほしい	どんなに重い障がいがあっても、人間らしく本人の気持ちを尊重して幸せに人生を送ってほしい、いつもそう思います。 入所も致し方ない場合もありますが、やはり、健常の人と同じように地域で暮らしてほしい。外出などもガイドを使えるとか（入所はガイドが使えないので）
母親 40代	利用者への愛を感じる内容とともに、大きな志のもとに事業をする中で、いくつもの壁にもぶつかりながらのこれまでだったのだろうということを知ることもできました	子どもがまだ中学1年生で知らないワードもおおく、これから勉強していかないといけないと感じました。今はとても恵まれた福祉制度を利用させてもらっていますが、それもこれまで多くの先輩方の活動があったからこそというのを思いつつ、自分自身は何もできずにいましたが、まず現状とこれからの課題を知り、少しずつでもできることを・・・と思いました。	
日中支援事業所	夜間対応の勤務職員が不足した時の調整等、様々な課題があるとわかった 収支が合わないとのことで、グループホームの運営の難しさを知ることが出来た	グループホームを作ることの困難さを再確認できました	
日中支援事業所	法人の理念を踏まえた、事業計画を確実に実現されていることに敬意を表します	初期投資、運営、人的確保等、一法人の限界を感じています	利用者、保護者の期待に何とか応じることはできないか
母親 50代	葦の家の歩みの話が長く、もっと具体的な取り組みの話が聞きたかった	分かりにくかった。民間でグループホームの運営するのが、いかに難しいかだけはわかった。テーマである親亡き後も続く「永遠の幸せな暮らし」については何のビジョンも持てなかった。司会の女性の方の話が一番良かった	
母親 30代	経営の難しさ、今後増えていくのかの不安	課題は多い、親がこういった問題にかかわる大事さ	
母親	重度の障がい者がGHで暮らすに当たっては人材、スタッフが良くなければ難しいなと感じました。 利用者が現在暮らしている家庭のように今後、GHを利用して果たして暮らしていけるだろうかという不安を常に持っていました。こうやって重度の人たちが暮らしてい		

	る現状に感動しております。今後もぜひ頑張って増やしていければと思います。		
暮らしネット会員	とても有意義であった	熱意が良く伝わってくる	
母親	すまいるホームの日常の中で、様々な問題と直面しつつ、取り組んでいただいている事に障がい者を持つ母親として感謝とともに福岡市からの支援の必要性を感じました	難しい問題であること、何よりまだ若い子どもたちの先行きに不安を感じました	たくさんきてほしいですが、あればいいというものでもなく、安心安全、信頼できる場所であってほしいと思います
母親 60代	とてもためになりました	施設と保護者が一丸となってグループホームづくりも考えないといけないなと思いました	国や市の補助がもっと必要だなと思いました。1億円はどのようにして集められたのか？と思いました
母親 60代	事細かにヘルプをされているので良いなと思いました。重度の子を持つので1から10まで手がかかります。こんな場所をたくさん作ってほしいです		重度のこが入れるよう、また日中の生活は変わらず週に外泊で何泊か帰れる。親亡き後は慣れた場所の生活がされれば親としては安心です。費用としては年金内で収まるようにお願いしたいです。親亡き後は年金だけなので。(定住型グループホームは難しいですね)
母親 50代	課題が多く模索しながらの運営だと感じました		
父親 60代		昔い問題、山積。でもあきらめるわけにはいかない	
日中支援事業所	発足のことから含め本当に地域に住む障がいのある方と向き合ってくれたんだと感じました。一事業者として非常に刺激をうけました。貴重なお話有難うございました	G Hの現実的なニーズの潜在性が徐々に本当に表面化してきたと感じています。行政側の設定単価と実際の現場にこうも乖離があると思いませんでした。親御さんの声を聞きつつ今後のサービスに反映します。	現在、共同支援事業事務局に勤めています。日中活動の場への共同支援は現在生活介護・居宅介護には共同支援費用がつかない現実です、そういう意味で私の今の役割は共同支援の場を広げて、より安心できる場の確保なのかと思いました。G Hに関しては非常に切迫性を実感しました。今後も学びに活かし、業務につなげ、そして訴えていく動きをしようと思います
父親 80代	何故ケアホームができないか、建設費・地域の中で共生するにも理解を求める主旨・ケアに携わる職員の確保が現状では想像以上困難な問題で、G Hができない	ケアホーム居住者に対するハイクオリティなサービスはやはりケアとは対峙ほんなことは事業者の長い間の経験の積み上げ必要なことと感じた。ケアホ	G H内での各人（入居者）同士のコミュニケーションの持ち方をどうするか言葉でコミュニケーションをとれる人とその他の人と如何様に過ごすのか

	大きな原因かと。	ームの新設、既存のホームに対し行政側の現在以上の支援の必要性を感じた	
日中支援事業所	葦の家の法人計画やスタッフの努力を見てとても素晴らしいと思いました	福祉の人手不足が課題ですね	
母親 60代	日々の利用者さんとの生活は突発的なこともあり大変だと思います。もっともっと支援が必要だと痛切に感じます	画面が小さくてお話だけではよく理解できない所が多くザンネンです	重度包括型と外部サービス利用型がありますが、将来重度の方も軽度の方も一緒に生活できる場が出来ればと思います。重心のホームは楽しみはたくさんできますというのでしょうか作っていただけますが、生活があまり感じなくて残念です。一人ひとりに対応することはとても難しくても人手も費用も足りないと思います
母親 70代	長年、理念を持ちつつけられて次々と展開されてグループホームも実現されてもまだ課題が続くということです。制度が変えなければという思いです	非常に勉強になりました	
父親 69歳	日常の業務を通じての話であって分かりやすいものでした 話の内容が少し多すぎたかなという感じがしました		
母親	グループホームを立ち上げ、暮らしていくことの大変なことが様々あること・・・それが一つ一つ詳しくわかりました。親としてできることは何だろうと・・・考えます。できることをやっていきたいと思いました		私の息子も最重度の障害を持っています。藤さん、そしてすまいるホームの職員さんのように、利用者を考え、寄り添ってくださるその姿勢には頭が下がる思いです。すまいるホームのようなグループホームがすこしずつ増えてほしいと思っています